

JRCスタッフの 2016年～2017年 ～ memory ～

≪ 常務執行役員：木本 史晴 ≫ (1995年4月入社)

昨年一番の出来事は、直近の事ですが、**ピサの斜塔**→
結婚20周年記念にヨーロッパ旅行に行けた事です。

10日間もの間家を空けたわけですが、その間子供たちも頑張ってくれました。子供にも感謝！



留守の間の食事は、事前に10日間の朝昼晩のメニューは揃えておきましたが、調理するのは普段から食事の手伝いを進んで行う料理好きな高校2年の次男の役目。一人でGREENのコンサートへ行ったり、一人カラオケができる行動派です。

部屋の掃除、皿洗い、洗濯、その他諸々は専門学校に通う長男の役目。お隣の奥様の話では、毎朝7時ごろからせっせとバルコニーで洗濯物を干していたとか・・・。

一聞、さすが長男！と思ってしまうかもしれませんが、これが、目玉焼きすらうまく作れない料理に関してはダメ男なんです。

そして中学1年生の3男は、お風呂掃除と乾いた洗濯物をたたむ担当・・・。のはずが、末っ子の特権か、うまく甘えて長男にやらせていたらしい・・・。(長男は3男にはとても甘いんです。)

そんなこんな大変なこともあったようですが、3人力を合わせて仲良く10日間を過ごしたようでホッとしました。

旅行中は私たちの方が心配で、子供にメールしたり電話したりしましたが、なんともそっけない返事しか返って来ず、子供たちはしっかり親離れしているのに、自分たちが子離れしていないことに気付かされました。

そして10日後の深夜無事帰国して家に入ると、あまりの部屋の綺麗さに夫婦そろって感動！・・・したのも束の間、親がいると家の事を何もしなくなってしまう子供たち・・・。「また長期間、家を空けるぞ」と脅す妻と子の攻防？は今も続いています。



≪ 営業課長：木村 幸美 ≫ (2003年2月入社)

昨年も多くのお客様のお手伝いをさせていただき、笑顔の絶えない1年を過ごすことができました。ありがとうございます！！

私の場合、個人のお客様をお手伝いすることが多いのですが、昨年は大手製造会社様の事務所移転に伴い新事務所の建築地となる土地の仲介をさせていただきました。

今回のお話は私がJRCに入社する前に勤めていた会社の先輩からの紹介で、現在こちらの会社にお勤めされています。他の業者様に声を掛けていたそうですが、なかなか条件の合う物件の紹介をしてもらえなくて...という相談から始まりました。

多くの社員様がいらっしゃいますので現在の事務所より、より良い環境や通勤のしやすさ等、気を付けなければなりませんでした。いただいた条件に合う土地を紹介することが出来ました。

面積の大きい土地のお手伝いでしたので売買金額も高額になります。どんな取引でも間違いがあってはいけませんので、重要事項の説明や契約内容の確認等を本社までお邪魔させていただき、各ご担当者様と契約予定日の3週間前に行わせていただきました。

売買契約の締結、売買代金のお支払等が無事に終了したときには担当者様をはじめ、同社の役員様、売主様に感謝の言葉をいただけて大変嬉しかったです。

今年も、多くのお客様に喜んでいただけるよう笑顔で頑張りたいと思います。



≪ 営業課長：小日向 昭弘 ≫ (2003年5月入社)

昨年は、ゼロ金利政策からマイナス金利政策導入により、住宅ローン金利も過去最低の金利水準となっております。

2017年は昨年に引き続き住宅ローンを利用してマイホーム購入をお考えの方には、良い時期が続いていると言えます。

また、現在住宅ローンを組まれている方も住宅ローンの借り換えによって、低金利の恩恵を得ることが出来ますのでご興味をお持ちの方はご相談ください。

住宅購入以外にも、不動産投資物件の購入も昨年に引き続き、多くのお客様にご相談をいただいております。ご契約いただいたお客様の中には...『紹介していただいて言うのも何ですが、小日向さんが買ってもしないんじゃないの?』と言われた物件もありました。

今年は、お客様に紹介しているだけでなく、投資物件に限らず不動産購入を本格的に考えようかと思っています。以前から考えていないわけではないのですが、お客様には自信を持ってお勧めしているのに、自分自身の事となると...ハードルを高く設定してしまいがちです。

このような事を経済用語では『留保水準』が高い(低い)と言うそうです。そのTV番組では、芸人で作家の又吉直樹さんとサッカーの武田修宏さんが出ている番組だったので、独身男性二人に対する結婚できる出来ないの経済学という内容でした...

私自身の『留保水準』高いのでしょうか？
留保水準低い相手募集中です。



≪ 設計監理課：清水 豪 ≫ (2011年3月入社)

抱負でも申し上げましたが、JRCに入社して6回目のお正月を迎える事ができました。

昨年は設計監理課として挑戦の年となりました。JRCがZEHビルダーとなって初めてのZEH仕様の住宅を建てさせていただきました。

初めての事に挑戦する事は当然ワクワクするのですが、反面心配もございました。私は主に現場の工事や材料の手配を行っておりますので、ZEH住宅の申請時に指定した高効率設備のみしか原則使用できないというルールには気を使いました。

また、申請には施工完了や設置完了後に写真を撮って添付する書類がございます。併用して現場管理を行っておりますので、申請に使う写真を撮ります。工程が進むと見られなくなる物もございますので、漏れがない様に気を付けました。

色々気を付ける点がございますが、最も大切で大変な申請自体は課長の陳が行っております。申請には様々な計算が必要なのでまだ私ではできませんが、できるように知識を付けたいです。

大変な事はございましたが、やはりZEH住宅は断熱性が高いので建物に入った際に夏場でも涼しく感じました。

住んだお客様に心地が良く、快適に過ごされて、喜んでいただけたら嬉しいです。



まだまだZEH住宅に関しての挑戦は始まったばかりです。今回で満足せず、更に良い住宅が建てられる様に頑張りたいと思います。